

令和5年度 第1回野洲市学童保育所運営協議会 会議録

- I 日 時 令和5年7月13日(木) 19:00~20:10
- II 場 所 中主防災コミュニティセンター 研修室A・B
- III 出席者 〈運営委員〉
野洲 まり子、周防 温子、山本 有希、奥野 圭美、香川 晴香、前田 直美
(以上保護者会会長)
木村 貞樹(市自治連合会)、浦谷 ふみ子(市民生委員児童委員協議会)
田中 源吾(市健康福祉部政策監)、水谷 威彦(社会福祉協議会事務局長)
西村 幸雄、立田 裕子、梶谷 明美、杉本 邦子、山本 絵美、太田 千鶴
(以上学童保育所所長)
〈事務局〉
立入 幸基(社会福祉協議会会長)、水谷 威彦(事務局長)
益田 研(学童保育課課長)
〈市健康福祉部〉
西村 一嘉(こども課課長)
村上 真規(こども課専門員)、今井 優希(こども課主事)
- IV 欠席者 なし

【内容】

- 1 委嘱状交付 野洲市社会福祉協議会 会長 より 野洲 まり子 氏へ委員を代表して交付
- 2 野洲市社会福祉協議会立入会長ーあいさつ ・出席者ー自己紹介
- 3 会長・副会長の選出について協議の結果、次のとおりとなりました。
会 長 木村 貞樹 氏 ・ 副会長 立田 裕子 氏
- 4 報告事項
(1) 令和5年度 野洲市学童保育所入所児童の状況 について

事務局 運営協議会資料1-①～1-④

資料1-① 在籍報告(令和5:2023年度5月1日現在)

令和5年度5月1日現在市内25学童保育所に在籍している児童の状況を一覧に表す。
児童は、小学校区ごと、各施設(クラス)の定員に合わせて、学年、保育区分、男女の各人数を勘案して施設(クラス)分けしている。
各施設の定員数と在籍児童数を学年ごとに表しており、それぞれ、行の下段に内数で季節保育の児童数としている。
令和5年度は、開所している25学童保育所の1年から6年生まで合計で、1,127名(約930世帯)1,127名の内、通年保育利用が886名 全体の79% 約8割が通年保育を利用している。
施設の定員を超える受入をしている学童保育所が25学童保育所の内、14か所あり、中でも利用者が増加している北野小学校区では、今年度も年間通して、北野小学校の第1.2音楽室を保育場所して、5か所での分割保育を実施して児童の居場所作りに努めている。

最後、下段（表の一番下）

学年別では、1年生 237人 2年生 264人 1.2年生では小学校児童の半数以上が利用している状況である。

資料1-② 野洲市学童保育所児童数推移

今年度（令和5年度）含め、過去5年間の推移を小学校と学童保育所の児童数を一覧で表している。それぞれの年度において5/1現在の児童数を基準として、左から令和元年小学校児童数3,008（学童保育所1,022）小学校児童における学童保育所利用児童の割合「34%」を在籍率として表している。

昨年度令和4年は、小学校2,922（学童保育所1,097）在籍率37.5%

令和5年5月1日現在、小学校2,833（学童保育所1,127）在籍率39.8%

年度ごとに学童保育所の利用児童数、在籍率ともに徐々に増加している。

今年度は、市内全体で児童の在籍率が39.8% 約4割の児童が学童保育所を利用していることになる。

合計欄の下に年度ごとの学童保育所施設数と定員、施設定員に対する利用児童の割合を「利用率」として表している。

令和2年度から施設数「24所」 篠原第2学童保育所を増設（定員25）して、第1.2の複数学童保育所として運営しており、また、北野小学校音楽室を保育拠点に加え、施設定員内で運営となっている。

資料1-③

年度ごとの推移に続き、こちらでは児童数の増減を5年前と現在とで比較している。

令和元年から令和5年までの5年間で、徐々に小学校の児童数は減少しており、市内全体で175名減少する。

小学校区別では、

| | | | |
|-----|---------|------------|-----------------|
| 中主小 | 681→586 | ▲95 (+31) | ()内は学童保育所児童数増減 |
| 篠原小 | 168→163 | ▲5 (△9) | |
| 祇王小 | 529→474 | ▲55 (+6) | |
| 三上小 | 196→172 | ▲24 (+5) | |
| 野洲小 | 826→717 | ▲109 (+0) | |
| 北野小 | 608→721 | +113 (+72) | |

北野小学校以外は、全て小学生児童数は減少している。

学童保育所は、4つの学区で、増加している。

このように、小学校児童数が減少、学童保育所の利用児童が増加していることより、市内小学生全体の内、学童保育所の利用児童の割合（＝在籍率）についても34%から39.8%と5年で5.8%UPしている。

資料1-④ 令和5年度 学童保育所「土曜保育」状況

上段：「年度別利用状況」

平成30年より、通常保育（月～金）に加え、保護者のニーズに応え、新たに「土曜日」に学童保育所を開所しており、開所から5年間の実績を年度別に一覧にしている。

年平均 約50日「土曜日」に開所しており、年度ごとに少しずつではあるが、利用登録児童数、出席児童数、また1日あたりの利用児童についても増加している。

中段：「令和5年度の利用状況」4/1～6/30の間の土曜日

「土曜日」においては、小学校の行事等も重なる日もあるが、基本的には開所し必要な方に、保育の場所を提供している。

下段：「土曜保育」の実施日と利用期間ならびに利用時間を「入所のしおり」から抜粋。

「土曜保育」は、月単位での利用申請が可能なため、月ごとに利用者が多少増減するが、必要とされる方に、延長保育を含め「午前7時30分から午後7時まで」開所し保育を提供している。「土曜保育」は合同保育を実施しており、指導員も交代勤務で保育に当たっている。今後も「土曜保育」時の様子、児童情報等を共有しながら、安定した保育に努める。

以上、資料 1-①～1-④をもとに、令和5年度野洲市学童保育所入所児童の状況について報告とする。

会長 ただ今の報告について、ご質問等ございましたらお願いします。

(質問なし)

(2) 令和5年度 学童保育所夏季保育における昼食提供について

事務局 資料 1-⑤

令和5年度においても夏休み期間中に保護者の負担軽減を図る目的で「昼食提供」を実施する。

実施する内容は、夏休み期間中、月曜日に3回、保育場所である学童保育所へ「昼食弁当」を配送して子ども達に食べてもらう流れである。

希望される保護者の皆様は、7月18日から7月24日の間(1週間)に児童所属に学童保育所にて申込みをしていただく。

昼食のお弁当メニューについては、一覧にあるように商品名と代金に加え、量(カロリー表示)、アレルギー食材を表記し、また、写真データを加え、申込みの際、参考にさせていただける様にしている。

季節保育(夏休みからの利用)の方もおられるところから、昼食提供の案内については、明日(7月14日)に一斉メール配信にてお知らせするとともに、学童保育所からも案内をすることで周知を図る。

昨年度実績のある「中主フレンドマート」様、また「日本通運」様にもご協力いただき、子ども達に安心して昼食を食べていただきけるよう進めていく。

以上、報告といたします。

会長 ただ今の報告について、ご質問等ございましたらお願いします。

委員 昨年度は試行でされた時に色々問題が出ていたと思います。

それを少しでもクリアしていただいていたの検討だとは思いますが、学童保育所の先生たちの集金等負担になっていた部分はどうなっているのでしょうか？

事務局 昨年度は試行ということで実施させて頂いて、その後指導員や関係者と調整して参りました。

今年度に入ってから、申込みの方法等検討してきましたが、残念ながら今年度についても同様の方式で実施する。但し、昨年度の経験があるので、学童保育所指導員や保護者の皆様にも安心して使っていただけると考えています。

「昼食弁当」提供先についても、基本的に実績先である地元業者を採用しました。

申込方法や料金徴収の方法についても、年度当初からオンライン化も含めて導入の準備をさせて頂きましたが、この夏につきましては、残念ながら準備が間に合わない状況で

あります。

改めて、今年度実施後、実績等踏まえ、来年度以降に生かして行けたらと考えている。また、指導員受付事務負担についても、今年度の実施内容を説明の上、予め理解と協力をお願いしている。代金回収や集計作業等については、事務局も協力をして、現場の負担軽減を図っていく予定をしている。

委員 わかりました。

会長 他に質問ございますか。

委員 去年は、どのくらいの利用状況だったのでしょうか？

事務局 昨年度は、1日当りの注文数が平均で300食、利用割合として約30%の利用となっています。

(3) 令和5年度 学童保育所活動報告について

事務局 昨年度まで約3年間、新型コロナウイルス感染症の影響により、学童保育所の活動も多くの制限の中で行ってまいりましたが、5月からの5類移行に伴い、特に子ども達の活動の制限についてはほぼ撤廃し、現在は、徐々に活動の幅を広げていております。実際の子どもの活動の様子について、委員の所長に報告をお願いしております。では、野洲学童「太田」、篠原学童「梶谷」両所長より報告いただきます。

委員 野洲学童保育所の子どもの活動の様子についてお話させていただきます。令和5年度は、286人でスタートしました。近年は、5・6年生の通年利用も多く、放課後を学童保育所で過ごしています。

4月の春季保育中の出来事です。絵の上手な6年生が、1年生に自分が描いた絵をプレゼントしていました。その1年生も毎日のように色塗りやお絵かきをしていました。きっとその様子を見ていたのだと思います。お母さんが、お迎えに来られた時1年生は名前を覚えていないので「あの人にもらった」と教えていました。あの人からお姉さんになるきっかけとなりました。あえて4月の春季保育の活動には、高学年が1年生に学童保育所の遊びを紹介する機会を設けています。高学年会議の中で役割分担をして丁寧に教えています。1年生も熱心に教えてもらっています。5月になると「今年の1年は、元気だな」と気にかけてくれている声も聞こえてきます。

また、新型コロナウイルス感染症が、5類感染症に移行したことにより生活室での遊びに変化があります。体を動かして遊べるドッジピンポン、コロボー、ボール&ガンをしています。中でもドッジピンポンは、7月の今も人気の遊びです。1年生も高学年の中に入り、見よう見まねで技を身に付けています。ワンパスでアウトになっていたのですが、変化球も上手に返せるようになりました。縦割りのクラス編成なので見習うことも多いように思います。

高学年の学童保育所での過ごし方は、指導員として悩むことも多いのですが、高学年の活動として自分たちで考えて自分たちで取り組めるように工夫をしています。年間の行事で夏祭りのお化け屋敷、ハロウィン、お正月のすごろくなどを企画してもらっています。今までの学童保育所の経験が実るときです。常日頃から「やりたいことあったら教えてね」と声をかけているのでやりたいときは、自分たちで考えて遊びを盛り上げてくれています。そして1年の締めくくりとして卒所式を行っています。6年間学童保育所で過ごした子どもたち。毎年感動の渦が巻き起こっています。一人の女の子が、「みんなに手紙を書いた」と言ってきました。卒所するにあたって女の子の思いの詰まった手紙です。聞いてください。

～手紙を読む～

このように卒所式で手紙を発表してもらい指導員冥利に尽きます。

本人は、読んでいる間も涙が止まらずでした。聞いていた子どもたちの中には泣いている子もいました。指導員としましても1年間子どもたちと共に過ごせたことが何より嬉しいことでしたし、このように思ってもらえたことに感動しました。

今年度も子どもたちと共に活動を考え、楽しかった思い出でいっぱいになるように一人ひとりの子どもたちに寄り添い、まず夏季保育を有意義に過ごせるようにしていきたいと思えます。

委員

夏の季節保育を前に、篠原学童保育所は第1・第2合わせて74人の児童在籍となっております。4月に入所した1年生も新しい生活に慣れ、安定した毎日を過ごしています。篠原学童保育所ではけん玉遊びの中でも、♪もしもしかめよ～のリズムに乗って、皿を行き来する「もしかめ」という技の連続回数を競う「もしかめ検定」を行っています。集中力や忍耐力も大切な技に2年生から6年生までが積極的に参加しています。優勝を目指して仲間と戦うシーンもありますが、検定が行われるたびに自己記録を更新していくことの方が、子どもたちにとっては大切な目標のように感じられます。

特に検定では緊張が高まり、いつもの実力が発揮できないこともあります。

子どもたちの、納得がいくまで何度も何度も挑戦する姿には大変感動します。

上級生の姿に刺激された1年生には、まず、持ち方や片付け方の基本を学んで欲しいと「けん玉教室」を開き、少しずつけん玉が好きになってくれるよう働きかけています。

学童保育所では各自が自由遊びの他、行事や「グループ活動」に参加しています。

春の「1年生を迎える会」に始まり、「誕生会」「かめっこ夏まつり」「ハロウィンラリー」「クリスマス会」「6年生を送る会」「お楽しみ会」…などがあります。

これらの行事を準備、実施するために、5,6年生のリーダー力が不可欠です。

「リーダー会議」の中で、子どもたちの意見をまとめ、行事当日には進行役も務めます。

また、4年生児童はリーダーの活躍する姿を見ながら、これからの自分たちの役割をイメージしていきます。

毎年継続しているグループ活動としては「ハンドベルクラブ」があります。

1年生を迎える会で、生活室に響き渡るベルの演奏を聴いた1年生。「自分もやってみよう！」と感じた子を募り、ドレミファソラシドの音階を鳴らすところから、仲間と協力して短い曲を演奏し、徐々に音の重なりが増える曲に挑戦していきます。メンバーの人数が足りない時や、少し難しいメロディなどで上級生がサポートする場面もあります。誕生会のオープニングで、♪Happy Birthday to Youを演奏するのもメンバーの大切な仕事です。

先週の「七夕のつどい」では、2年生がアニメ映画の挿入歌で知られる♪さんぽを、3年生が♪きらきらぼしと♪たなばたのメドレーを演奏しました。

ハンドベル発表を通して、地域の皆様との交流も進めています。

昨年度、コミュニティセンターしのはらで開催された文化祭では、初めて学童保育所の外へ出て、保護者様、地域の皆様に演奏を聴いていただきました。

多くの方に自分たちの練習の成果をご覧いただき、学童保育所に興味を持っていただく良い機会となりました。

子どもたちにはとても緊張する場面でしたが、大きな自身となる経験が出来たのではないのでしょうか。

暑くて長い夏休みが始まります。

屋外に出るのが難しくなる日も多いです。お部屋で過ごす工夫として、学年ごとの工作とリーダー活動を予定しています。

工作は社会福祉協議会の広報誌『社協やす』で紹介された「ファブリックリース」、「1年生陶芸体験」、「手形アートでデコレーション・ポーチ」などを準備中です。

遊びや活動の方法を上級生から次の学年に伝えていく。学童保育所での異学年集団の良

さを生かし、児童の一人ひとりが、有意義に自己実現できる場になればいいのかなと考えております。

期間中のお弁当作りや毎日の送迎、大変ご苦労様です。

私たち指導員一同も保護者様とともに、子どもたちの心身の健康で安全な生活づくりを進めていきたいと思っております。ご協力よろしくお願い申し上げます。

以上、報告とします。

会長 　ただ今の報告について、ご質問等ございましたらお願いします。

（質問なし）

5 その他について

こども課 入所申請のオンライン申請の取扱い について

来年度（令和6年度）の入所の申請について、現在オンライン申請の導入をすすめています。通常、毎年11・12月に一斉申込の期間を設定し、市役所に来所いただき、申込みをして頂くこととなりますが、それに加えて今年からオンラインでの申込みを導入予定です。詳細は、入所の案内に「QRコード」をつけさせていただき、そちらからアクセスをしていただくことを検討しております。来年度から紙での申請に加え、オンラインでの申請と選択肢が増える形となります。

事務局 　次回の開催につきましては、日時等の詳細は後日協議させていただき決めたいと思いますが、令和6年度の入所申込が完了した時期、12月中頃を予定しております。改めてご案内させていただきます。

委員の皆様におかれましては、よろしくお願い致します。